

名古屋大学 大学院医学系研究科 がんプロ推進室
安藤 雄一様

名古屋市立大学 医学部事務課
伊藤 純菜

令和7年度 東海がん専門医療人材養成プランセミナー実施報告書

表題の件、過日に実施したセミナーの報告を下記の通りいたします。

記

1. テーマ 「ACP・アピアランスケア」
2. 開催場所 名古屋市中村区名駅1-1-1 KITTE 名古屋3階 JPタワー名古屋ホール&カンファレンス
「カンファレンスルームA」およびZoomにてハイブリット開催
3. 日時 令和7年11月1日(土) 14:00~16:30
4. 講演
 - ・「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のエビデンスと実践～最近の話題より」
聖隸三方原病院 緩和支持治療科・部長 森 雅紀先生
 - ・「がん医療の中で外見を支援する意味-アピアランスケアの本質を考える-」
国立がん研究センター中央病院
アピアランス支援センター・センター長 藤間 勝子先生
5. 参加者 来場者数 27名(事前申込者数 27名)
Zoom 視聴者数 126名(事前参加申込数 179名)
<参加者申込者職種内訳>

・医師	30名
・歯科医師	3名
・看護師	121名
・薬剤師	10名
・栄養士	5名
・理学・作業療法士	4名
・検査技師	2名
・ソーシャルワーカー	5名
・心理士・カウンセラー	2名
・ピアソポーター	10名
・その他(大学院生など)	14名

6.アンケート結果

別紙参照

7.今後のセミナーで検討すべき点

- ① 申込者数と参加者数の乖離
- ② WEB参加者への事前資料共有
- ③ 参加者の継続的ながんプロ事業への参画

8. 総評

本学主催の2回目となる今回のセミナーは『ACP・アピアランス』をテーマとし、聖隸三方原病院の森雅紀先生には関心の高まるACPについて課題や実践と展望について、国立がん研究センター中央病院の藤間勝子先生にはアピアランスケアの基本的な考え方や具体的なケアについてご講演いただきました。

講演内容も素晴らしく、参加者からは大変勉強になった、実践に活かせる内容だったとのお声をいただきました。また全国がんプロ協議会顧問の松浦成昭先生も現地でご参加いただき、「東海がんプロ」の発展に期待するとの激励をいただき、充実した講演となりました。

今後も東海がん専門医療人材養成プラン事業が広く周知されるよう取り組んでいきます。

以上

東海がん専門医療人材養成プランセミナー「ACP・アピアランスケア」

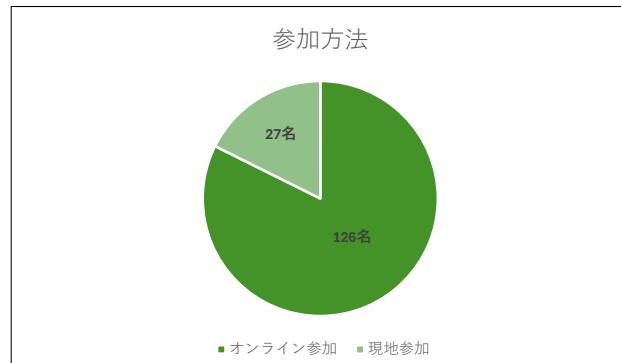
【セミナーアンケート集計結果】

1. アンケート回収率

アンケート回収数	99
回収率	64.7%

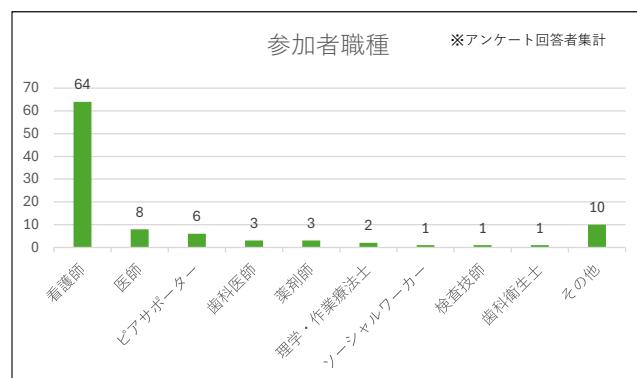
2. 参加方法

オンライン参加	126
現地参加	27



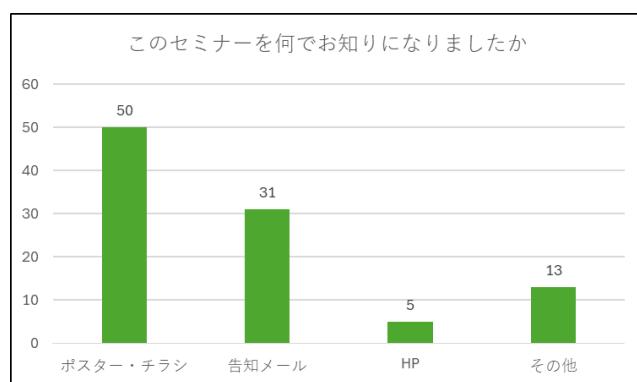
3. 職種

看護師	64
医師	8
ピアサポーター	6
歯科医師	3
薬剤師	3
理学・作業療法士	2
ソーシャルワーカー	1
検査技師	1
歯科衛生士	1
その他	10



4. このセミナーを何でお知りになりましたか

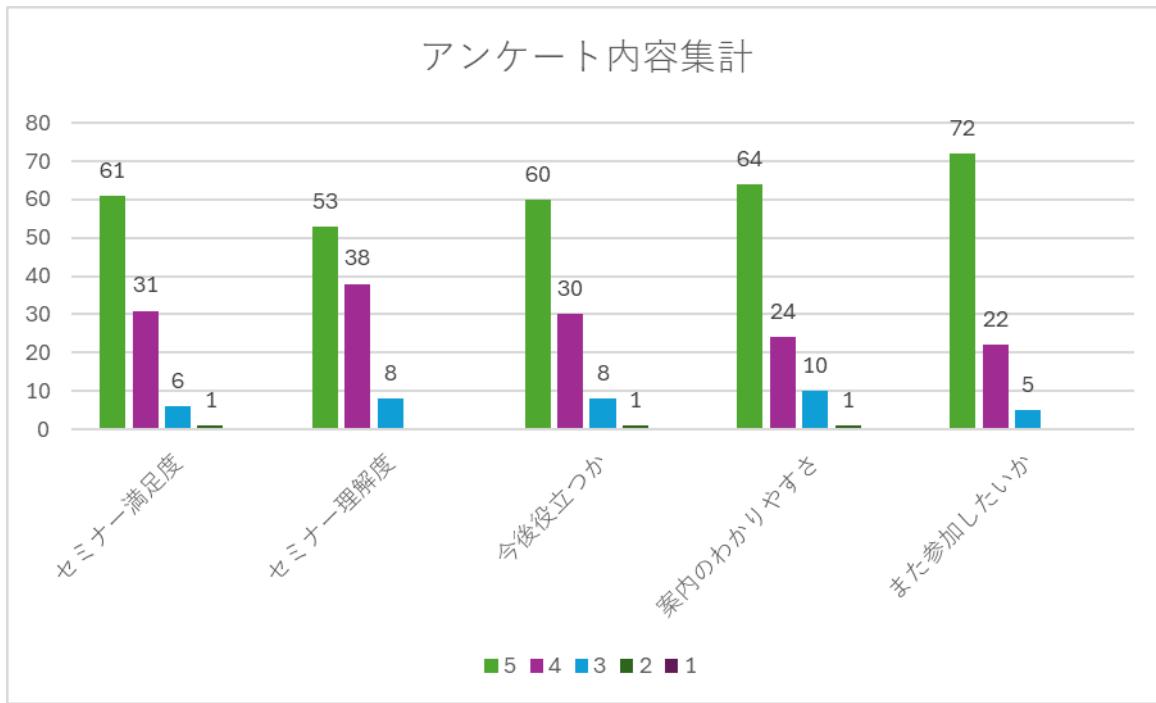
ポスター・チラシ	50
告知メール	31
HP	5
その他	13



5. アンケート内容

5段階評価で回答。数字が大きいほどポジティブな回答となります。

- ① セミナーの満足度を教えてください。
- ② セミナーの内容は理解できましたか。
- ③ セミナーの内容は今後役立ちそうですか。
- ④ 開催に関する案内（会場案内やZoom情報）はわかりやすかったです。
- ⑤ またこのようなセミナーに参加したいと思いますか。



6. セミナーの感想

- ・大変勉強になりました。WEBで遠方から参加させていただきました。ありがとうございました。(医師)
- ・ACPについても、アピアランスケアについても、これまでの知識を上回る知見を知ることができ、良い学びの機会となりました。講師の先生お二人とも分かりやすいお話をありがとうございました。(看護師)
- ・このような機会をありがとうございました。大変、勉強になりました。今後の活動に活かしていきたいと思います。(ソーシャルワーカー)
- ・がん患者への関わり方についてエビデンスを用いて説明していただいたので、こうやれば良いということが自信を持って患者・医療者へ伝えることができると感じた。(看護師)
- ・ACP・アピアランスケアともに現場で取り組んではいますが、取り組み方に疑問やもっといい方法はないのかなと思うことも多いため、有意義な研修となりました。(看護師)
- ・ピアソポーターとしてとても勉強になりました。これからピアソポーターをしていく立場としてとても勉強になりました。(ピアソポーター)
- ・アピアランスケアが医療者のアプローチであることを初めて知りました。もっと病院で広がることを願います。(ピアソポーター)
- ・コミュニケーションにて認知の部分に働きかけ、ケアを行う方法について具体例を通じて学ぶことができた。今後臨床に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。(看護師)
- ・現場で実践できる具体的な知識・スキルが知れたので一人でなくスタッフと共有しながら一緒に実践していくと思います。(看護師)

- ・可能なら資料が欲しかったです。(看護師)
- ・アピアランスケアにおける患者の生活と、制限しすぎない患者の生活や心身を著しく阻害しない限り患者が自由に行えるように意思決定を支援するという内容がとても印象に残った。(看護師)
- ・専門家の先生の講義から新しい情報を知り得る機会ができました。講義の中からいくつかの学習する機会を紹介していただいたのでさらに調べ学びたいと思いました。(看護師)
- ・ACP に対して病院で取り組み始めたところです。特別なことではなく、日常で患者さんと接する機会に一言添えることから始まる。きっかけを作る大きさがよくわかりました。がんばっていきたいなと思いました。(看護師)
- ・ACP もアピアランスケアもとても興味深く面白い内容でした。アピアランスケアについて、自分自身もいろいろ視野をひろげて 100 均で使えそうなものなど情報収集したいと思いました。(看護師)
- ・日本文化の ACP についてすっきりしました。アピアランスケアはやっと拝聴することができこの勉強はとても楽しいです。(歯科衛生士)
- ・顎顔面頭頸部癌を専門に扱う上で、外見が最もさらされる患者（顔の半分がなくなったり上顎裂等により顔貌が変異する）に対して外来でがんを告知し、その後予後を伝える時心が痛みます。特に女性の患者さんに告知した時は今でもトラウマとなっています。ウィッグや乳房パットなどに比べるとはるかにシリアスな予後にどう対応すればよいでしょうか。(医師)
- ・受けさせて頂き本当によかったです。帰路につきました。・ピアサポート中、ウィッグの助成金についてのご相談は多くそこからアピアランスケアということについては知識を持っていましたが、がん患者となつても女性らしさや女性としての美容をアピールしなければいけないのか、そういう活動を妙に取り上げるマスコミなど腑に落ちないところがありました。藤間先生のお考え方を聞き、医療と美容の違いがよくわかりました。無知と偏見についてのお考えも納得しました。またこのような機会に受講させていただきたいです。(ピアソーター)
- ・アピアランスケアについてのセミナーには複数回参加経験がありますが、今日ほど腑に落ちたお話はありません！ほんとうにありがとうございます。どうやってキズや脱毛を隠すかの技術が上がつても…と思っていたので、藤間先生の言葉のひとつひとつがモヤモヤをクリアにしてくださった感じです。(看護師)
- ・本日はありがとうございました。当院でも外来で 2023 年度から病棟との共有ツールは今年度から少しづつ ACP 支援として始めています。セミナー内容は共感できるところが多く、今後はどうしていこうかどうか考えながらの良いセミナー受講となりました。また、アピアランス支援としての現場の事例などのお話は看護師自身の固定概念がんあることを痛感し、今後の支援の糧となるべく勉強となつたセミナーでした。職場に持ち帰りセミナー内容の共有を早速したいと思います。ありがとうございました。(看護師)
- ・藤間先生のご講演が、とても心に響きました。ひとりひとりの患者さんのこころに寄り添つていこうと、初心にかえることができました。ありがとうございました。(看護師)
- ・初めて参加させて頂きました。オンライン参加だったのですが、資料がダウンロードできたらよかったです。部署のスタッフにも伝達したいと思うくらい、とても分かりやすく実践に活かせる内容でした。アピアランスケア、とても勉強になりました。(看護師)
- ・貴重な講演をありがとうございました。大変勉強になりました。一部の音声が小さくて聞き取りづらかったです。オンライン参加の場合にも手元資料を事前にメールなどで添付いただけするとより理解しやすいと思いました。また、オンライン参加の質疑は、チャット欄でも受け付けていただけすると意見が集まりやすいかもしれません。(看護師)
- ・今後の相談などに役立てたいと思います。ありがとうございました。(ピアソーター)
- ・貴重な講義をありがとうございました。(ピアソーター)
- ・ACP、アピアランスの理解が深りました。(看護師)
- ・専門分野の方からの貴重なセミナーありがとうございました。(看護師)

・精神科に勤務しています。精神科患者に予後やACPの話はなかなか困難だと感じています。患者状態に合わせた説明が取り入れられたらと思いました。乳癌の患者が告知後うつ状態になってしまい入院されています。その方が何に不安なのか表出できるようになつたら、本日学んだことを活かして具体的なお話しをしたいと思いました。本日はありがとうございました。(看護師)

・ACPについて、今年度からACPの取り組みが具体的に始まつたので、とても勉強になりました。またアピアラנסケアについても、始めて詳しい講義を聞くことができて、声かけの仕方など具体的に教えていただいたので、今後の看護に活かしていけたらと思います。(看護師)

・WEBでの参加でしたが、質疑応答の際会場の様子がわかると現地で参加している雰囲気を体験できるように思いました。(看護師)

・アピアラنسケアについての概念が変わりました。商品の情報提供をすることに注力していました。(その他)

・自身も唇腫瘍で数回の手術を受けました 11月4日にも形成にて再建手術を行いましたが、受講しアピアラنسケアの認識が又高まりました。(その他)

・会場の図を見ても場所がよくわからなかつた。当院でACPの話になると「来週外出できるかどうか」「DNRをとるか」「IC前後に患者に声をかける」などばらばらで、なかなか説明しても理解されず困っていました。何が問題なのかを話しあいACPのどの要素を行うのかを看護師と話しあつていこうと思います。とてもわかりやすい森先生の話をたくさんのお看護師さんに聞いてもらえてよかったです。アピアラنسケアについて外見への介入だけでなく、認知の変容や対人行動への助言もアピアラنسケアという認識がなかつたので、とても勉強になりました。自分にできることが増えアピアラنسケアを身近に感じることができました。(医師)

・先日は貴重なご講義を賜り、誠にありがとうございました。私は、アピアラスワーキンググループの一員として活動しております。藤間先生のご講義は、言葉の選び方や、自己概念、自己認識の変革といった考え方が、我々看護師の視点とは異なり、大変多くの学びがございました。中でも、アピアラスケアに用いるグッズについて、「身近なものの活用で十分であり、高価な専用商品を購入する必要は全くない」というお話には、まさに目から鱗が落ちる思いでした。100円ショップの洗濯ネットや保冷剤の使用でも良いというお言葉は、高額な医療費を日々支払う患者様の負担を軽減する点で、極めて理にかなつていて感じました。当センターでは、長年、外部企業の協力のもと「セルフケアフェア」という催しを開催しております。しかし、先生のお話を伺い、協力企業の商品を紹介し続けることが、果たして患者様にとって最善なのか、その意義と影響について改めて立ち止まって考える必要性を感じました。ワーキンググループとして今後は、セルフケアフェアを管轄する庶務課と連携し、正しいルール作りや、関連企業への教育を含めた運営体制の整備を進めていきたいと思います。「病院が推奨するものではない」といった線引きの重要性を改めて認識いたしました。また、藤間先生がご尽力されている「アピアラスケア研修応用編」には、2年連続で募集しておりますが、来年こそは狭き門を潜り、ぜひ参加させていただきたく強く願っております。現在、『ガイドライン』と『臨床で活かすがん患者のアピアラスケア』も熟読させていただいており、大変興味深く改訂も楽しみにしております。今後も、日本のアピアラスケア事情がより良いものになるよう、私自身も微力ながら尽力していきたいと思っております。先生方の更なるご講義もぜひ拝聴したいと思います。海外の状況につきましても、もし参考にできる情報がございましたら、ご紹介いただけますと幸いです。いつか先生に直接お目にかかり、お話を伺える日を心待ちにしております。(看護師)

・大変勉強になりました。(医師)

・メモしながら参加したのですが、資料の配布や添付はないのでしょうか？いつでも振り返られるようパワーポイントの資料があると今後より役立つと思いました。(看護師)

・アピアラスケアについてしっかり考える機会があまりなかつたので、今日の講義で患者さんに対する声かけ、提案の仕方など学ぶことができ良かつたです。ACPについても日々、どのように取り組むべきか難しさを感じています。患者さんが良いと思える選択の手助けができるよう関わり方を考えていこうと思いました。ありがとうございました。(看護師)

- ・アピアランスケアのことが深くわかって良かったです。(医師)
- ・オンラインでしたが、資料を印刷できるようにしていただきたかったです。(看護師)

